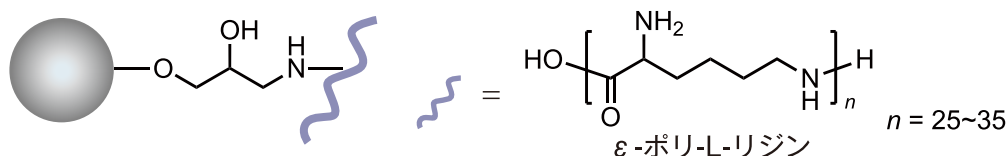


# セルファイン<sup>®</sup> ETクリーン L/S

セルファイン ETクリーンは、タンパク質溶液からエンドトキシン(リポポリサッカライド、LPS)を選択的に除去するために設計されたアフィニティクロマトグラフィー担体です。

リガンドには、*Streptomyces albulus*によって得られる微生物由来のポリアミノ酸であるε-ポリ-L-リジン(30~35残基)が固定化されています。



## ▶ リガンドおよび吸着特性

リガンド	ε-ポリ-L-リジン
基材	セルロース粒子
粒子サイズ	ca. 40~130 μm
排除限界	ETクリーン S: ~2,000 Da ETクリーン L: $\geq 2 \times 10^6$ Da
耐圧性	0.4 MPa
使用条件	pH 7.0、NaCl濃度 0.02~1.0 mol/L、温度 0~25°C
CIP安定性	0.2 mol/L NaOHで安定、繰り返し使用可能

## ▶ 主な利点

- ・タンパク質の損失を最小限に抑えながら、エンドトキシンを選択的に除去
- ・生理的条件下で使用可能
- ・洗浄液(0.2 M NaOH、2 M NaCl)に対して高い安定性;  
バイオ医薬品の精製やエンドトキシン管理に最適

## ▶ パフォーマンス

### ET クリーン S

エンドトキシン除去: 10~80 pg/mL  
タンパク質回収率: ~99%

### ET クリーン L

エンドトキシン除去: <10 pg/mL  
低塩条件下で  
酸性タンパク質の吸着が少ない